

| | | |
|--------------|-------------------------------|--|
| <h1>週 報</h1> | 2022年1月16日 第42号(創立1907年12月8日) | 〒603-8146 京都市北区鞍馬口通寺町西入下ル 285-83 |
| | 日本基督教団 洛北教会 主任担任教師 岡本知之 | Tel 075(231)6676 Fax (223)5505 http://rakuhoku-church.com |

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>顕現後第2主日</p> <p>前 奏 礼拝招詞 讃 美 主の祈り 使徒信条</p> <p>聖書朗読 間 奏 祈 祷 説 教 献 金 報 告 頌 栄 祝 祷 後 奏</p> | <p style="text-align: right;">10時45分</p> <p style="text-align: right;">司式 長谷川尚三 奏楽 太田はるか</p> <p>(一同起立) 309(1、3、4番) (564)</p> <p>司式者：我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。 一同：我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくぐり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体^{とこしへ}のよみがへり、永遠^{いのち}の生命を信ず。アーメン</p> <p>ヨハネの手紙一1章5節~2章2節(新約聖書441頁)</p> <p style="text-align: right;">岡本知之牧師 岡本知之牧師</p> <p>「交わりを生きる」 (感謝と献身のしるし)</p> <p>541</p> | <p style="text-align: center;">礼拝招詞</p> <p>いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。</p> <p style="text-align: center;">テサロニケの信徒への手紙一 5章16~18節</p> <p style="text-align: center;"><今週の集会></p> <p>*聖書研究・祈祷会 19日(水) 休 会</p> <p>*「説教黙想」を読む会 休 会</p> | <p style="text-align: center;"><報 告></p> <p>*コロナ感染の再拡大により、教会学校は本日より当面お休みとし、主日礼拝は次週23日より会堂での礼拝は教職・役員のみで守る「分散礼拝」とすることが先週の役員会にて決議されました。礼拝はYouTubeにてライブ配信されます。週報はホームページに掲載されますが、「分散礼拝」の間、毎週週報の送付を希望される方は、教会までご連絡下さい。朝の聖書研究会、夜の祈祷会、「説教黙想」を読む会も当分の間、休会とします。再開の予定につきましては、随時ホームページ等にてお知らせ致します。</p> |
|--|--|---|--|

<説教黙想>

「そこにあるのは、私には罪がないと言うことの罪、からの光への道」

私たちは求道者として、更には受洗者として教会に受け入れられ、その日々を歩んでいます。その両者に共通して存在する最大の罪とは「わたしには罪がない」と言うことであると8節は語ります。もし本当に自分の中に罪がないなら、私たちにはイエス・キリストも、父なる神も、弁護者も必要なくなります。それは即ち「己の腹を神として生きる生き方」であり、自分で自分を「義」とする生き方なのであります。イエス・キリストを信じ、教会の中に入れられたとは言え、そこにはユダヤ人特有の自己義認的考え方があったのかも知れません。しかしそれは将にイザヤ書が語るように「見よ、お前たちはそれぞれ、火をともし松明を掲げている。行け、自分の火の光に頼って、自分で燃やす松明によって。わたしの手がこのことをお前たちに定めた。お前たちは苦悩のうちに横たわるであろう。」(50章11節)と言われる世界なのです。

これに対してこの手紙の筆者は「光の中を歩む」生き方を提示します。それは自分が罪のない潔白な人間であると主張することではなく、むしろ「自分の罪を公に言い表す」ことを意味します。そして2章1節では「これらのことを書くのは、あなた方が罪を犯さないようになるためです」と語ります。この「罪を犯す」はアオリスト時制で書かれており、「動作を一つのものとして全体的に捉えること」を意味します。即ちここでの罪とは「あの罪、この罪」の個々の罪ではなく、その根底にある「罪の本体」そのもののことです。

その罪の本体こそが「私は正しい、私には罪はない」と言わしめるのであると言うのです。しかし考えてみれば、人みな等しくそのような者であったのではないのでしょうか。先ずそのことを知り、認めることが大切です。そして弁護者イエス・キリストを知ることを通して、私たちに光への道が開けてくるのです。

<会計報告>

(1月9日分)

◎郵便振替口座：01020-0-24987

◎口座名称：

日本基督教団洛北教会

◎洛北教会 email：

rakuhoku@eos.ocn.ne.jp

<次週の案内>

顕現後第3主日

1月23日

10時45分

説教 「愛の実現」

岡本知之牧師

司式 石橋真人

聖書 ヨハネの手紙一

2章3節～11節

讃美 365(1、2、3節)

奏楽 三浦真美子

1月当番役員

岸本祐子

<集会統計>

(1月8日～1月15日)

| 日 | 曜 | 集会 | 男 | 女 | 計 |
|----|---|------|----|----|----|
| 8 | 土 | 説教黙想 | 3 | 1 | 4 |
| 9 | 日 | 主日礼拝 | 25 | 35 | 60 |
| | | 教会学校 | 6 | 5 | 11 |
| | | 幼稚科 | 5 | 4 | 9 |
| | | 小学科 | 0 | 1 | 1 |
| | | 中高科 | 1 | 0 | 1 |
| 12 | 水 | 朝の聖研 | — | — | — |
| | | 祈禱会 | — | — | — |